

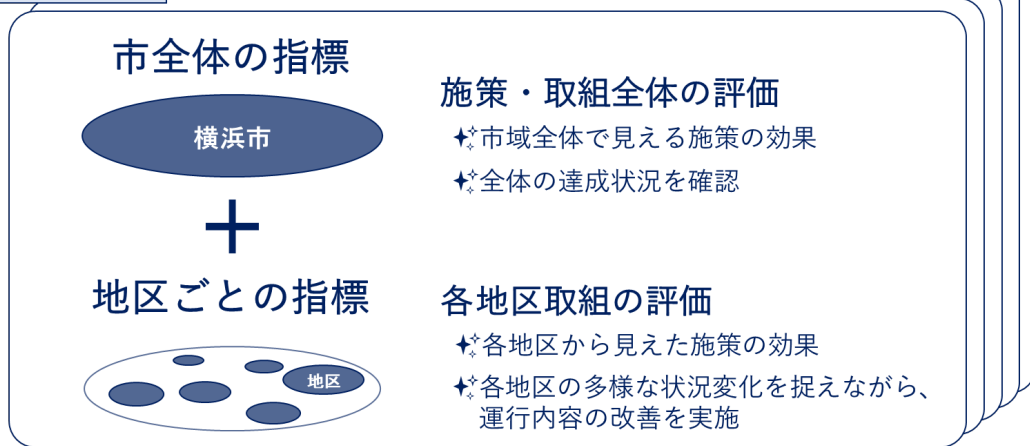
地域公共交通計画に基づく 令和7年度評価

令和8年3月25日

都市整備局 交通企画課

- 令和7年度から地域公共交通計画の運用を開始し、計画の目標・指標に基づき、毎年度、各取組の進捗管理・効果検証を行います。
- 毎年度の効果検証を踏まえ、計画期間の5年目を目途に施策全体の総合評価を行い、計画の見直しや施策の改善を進めていきます。

① 毎年度実施



〈効果検証の進め方〉

3月頃に協議会を開催し、各取組の進捗確認を行い指標に基づく評価をお示します。

② 5年目を目途に実施

総合評価

計画の見直し・施策の改善実施

1 横浜市全体の評価

番号	評価指標	現状値 (計画策定時)	R 7 年度末実績値	目標値
1	駅まで15分達成人口割合	92.3%	次回報告 ※1	維持
2	導入及び維持した路線数	33路線	43路線	84路線
3	新たな支援地区数	——	37地区	50地区程度
4	バス運転士数の充足率	94.3%	次回報告 ※2	100%
5	外出が増加した地区数	——	2地区 ※3	50地区程度
6	利用促進に関する取組件数	52件/年	96件/年	増加
7	公共交通分担率	50.2%	—— (※4)	増加

※1 年度末のダイヤ改正後のデータで算出
※3 このほか10地区でアンケート調査中

※2 3月調査実施
※4 令和10年度パーソントリップ調査を用いて評価

1 横浜市全体の評価

2 導入及び維持した路線数 3 新たな支援地区数

評価指標	R7実績
導入及び維持した路線数	43路線
新たな支援地区数	37地区 → P6で説明

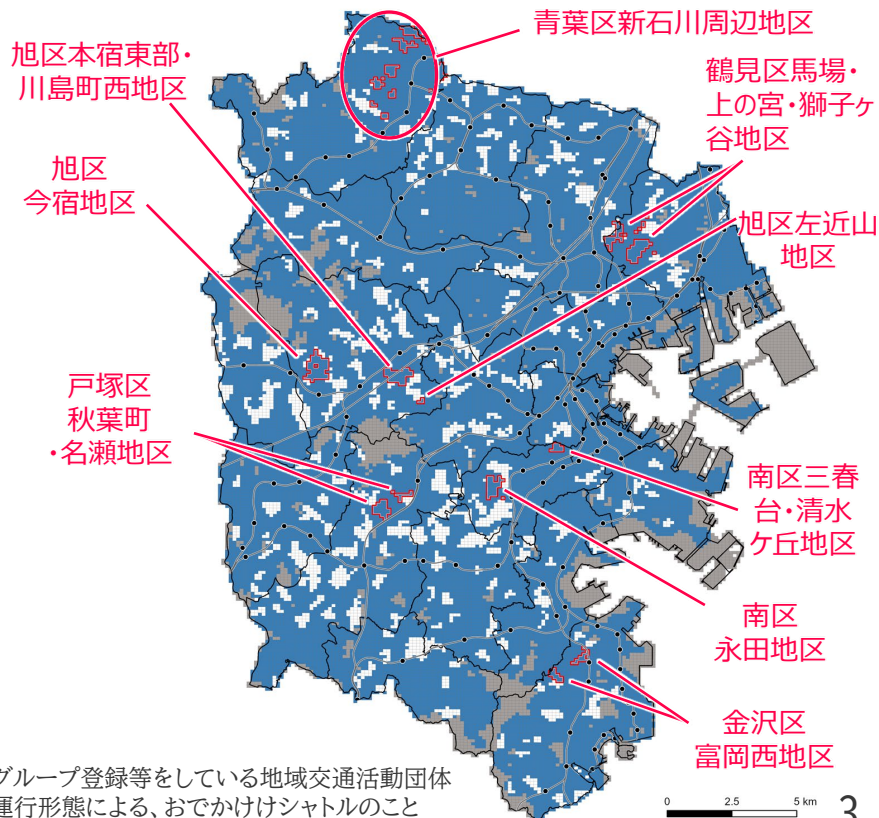
公共交通圏域: 5.0 km² 増
圏域人口 : 63,500人 増

・導入及び維持した路線数 (R7実施地区)

◆導入した おでかけシャトル

- ▼デマンド 鶴見区馬場地区、上の宮地区、獅子ヶ谷地区
青葉区新石川周辺地区
- ▼路線定期 南区三春台・清水ヶ丘地区、南区永田地区、
旭区今宿地区、旭区本宿東部・川島町西地区、
金沢区富岡西地区、戸塚区秋葉町・名瀬町地区、
- ▼ボランティアバス※ 旭区左近山地区

※ボランティアバスとは：横浜市地域まちづくり推進条例に基づく、地域まちづくりグループ登録等をしている地域交通活動団体が運行する道路運送法による許可または登録を要しない運行形態による、おでかけシャトルのこと



1 横浜市全体の評価

4 外出が増加した地区数

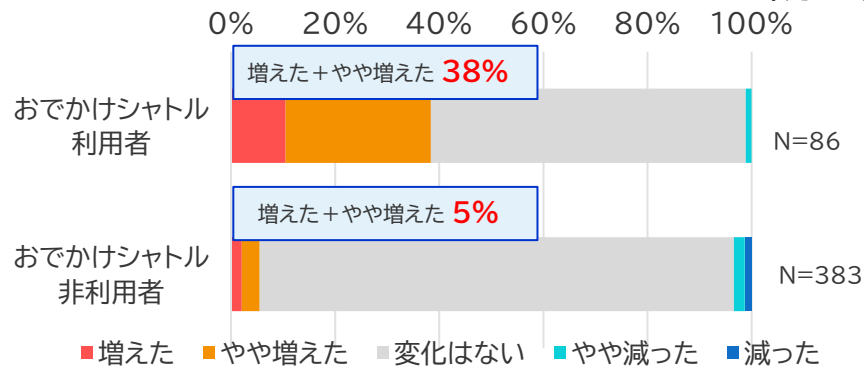
評価指標	R7実績
外出が増加した地区数	2地区※

※このほか10地区でアンケート調査中（予定を含む）

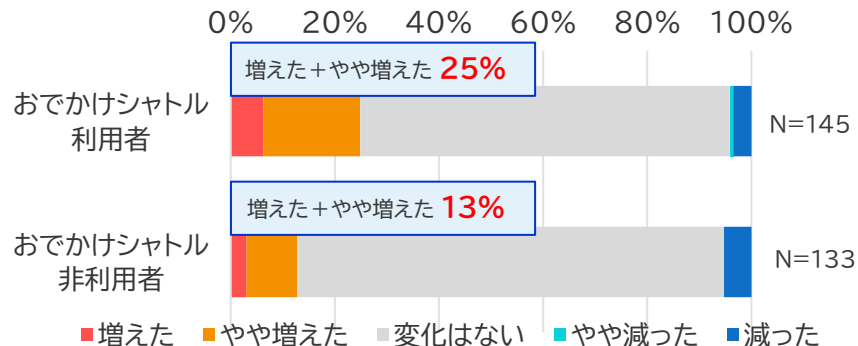
<結果の詳細>

・おでかけシャトルの運行前と比べて、増えた・やや増えたと回答した人の割合

アンケート調査結果（外出回数の変化）



旭区本宿東部・川島町西地区
(2024年11月から実証運行開始)



戸塚区小雀地区
(2009年7月から本格運行開始)

1 横浜市全体の評価

5 利用促進に関する取組件数

評価指標	R7実績
利用促進に関する取組件数	96件

<結果の詳細>

・モビリティマネジメント出前講座 14校16学年

市内の小学校を対象とし、モビリティマネジメントについて学ぶ出前講座を実施
プログラム：「福祉教育」、「キャリア教育」、「環境教育」

・新たな利用促進策

バス魅力発見デー（8/24開催）、利用促進動画「出かけようバスに乗って」5.6万回視聴、
アニメ「運転士さんありがとう」5.9万回視聴

・その他

利用促進・周知

地域や各種シンポジウム、大学講義での地域交通に関する説明・周知・啓発
ホームページ、SNS、サイネージ、広報よこはまへの掲載、
区別バスマップ、ポスター啓発等



福祉授業：車イス乗降体験



利用促進動画
「出かけようバスに乗って」

2 各地域単位での評価

今年度運行中の地区の実績

段階	評価時期	診断の要素
取組後	原則 年1回	運行によるアクセス性の変化
		物理的な変化 (駅・バス停の距離) →公共交通圏域の変化割合 (面積、カバー人口など)
		時間的な変化 (駅や生活利便施設までの時間)
		金銭的な変化 (駅までのタクシー運賃など)
		運行本数
		利用状況 ・利用者数 ・利用傾向 ・頻度 等
		運行収支 ・運賃収入 ・運行経費 ・補助金交付額 等
		その他、地域固有の指標 例：商業施設等の来場者数、地域イベント参加者数
		外出頻度の変化 ・外出頻度 ・外出意欲

おでかけシャトルに支援している37地区のうち16地区で運行開始しています。

そのうち、路線定期・デマンドで運行している地区のR7年度の実績を「資料3別紙」で紹介



このうち、以下の地区を事例として報告します。

旭区本宿東部・川島町西地区

	単位等	各地地区の実績値										
		旭区本宿東部・川島町西	南区三春台・清水が丘	南区永田	鶴見区獅子ヶ谷・上の宮・馬場	戸塚区名瀬・秋葉	旭区今宿	青葉区新石川・美しが丘・おぎみ野	金沢区高岡西	旭区四季美台・寺川町	戸塚区小雀	
◆運行期間												
実証運行の年数 または 本格運行	実証運行 ○年目	実証運行2年目	実証運行1年目	実証運行1年目	実証運行1年目	実証運行1年目	実証運行1年目	実証運行1年目	実証運行3年目	本格運行	本格運行	本格運行
評価対象期間		2024.11.12 ～2025.11.11 (実証運行1年目)	2025.4.14 ～2026.1.31	2025.8.1 ～2026.1.31	2025.8.18 ～2026.1.31	2025.8.12 ～2026.1.31	2025.11.4 ～2026.1.31	2025.11.4 ～2026.1.31	2025.12.1 ～2026.1.31	2025.4.1 ～2026.1.31	2025.4.1 ～2026.1.31	
	○か月運行	12ヶ月	10ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	2ヶ月	補助開始10月	補助開始10月	
◆評価指標												
運行によるアクセス性の変化												
物理的な変化												
公共交通圏域となる面積	㎥	0.52	0.15	0.43	1.00	0.51	0.74	1.28	0.38	0.56	0.48	
公共交通圏域となる人口	人	5,500	2,400	6,600	13,200	7,200	9,400	14,800	3,500	5,700	2,900	
時間的な変化												
施設30分圏域となる面積(スーパー)	㎥	0.38	0.00	0.28	0.85	0.36	0.74	1.34	0.23	0.38	0.62	
施設30分圏域となる人口(スーパー)	人	3,400	0	3,800	9,100	3,500	9,100	15,600	2,000	3,000	2,500	
施設30分圏域となる面積(総合病院)	㎥	0.38	0.03	0.03	1.28	0.28	0.85	2.68	0.00	0.16	0.66	
施設30分圏域となる人口(総合病院)	人	4,800	200	300	15,400	2,300	10,200	33,800	0	1,700	2,600	
最寄り駅までの所要時間の変化 ※おでかけシャトル導入前の主な移動手段が徒歩の人から推計	平均 分短縮 最大 分短縮	平均3.4分減少 最大7.4分減少	—	—	—	—	—	—	—	—	平均30.4分減少 最大39.7分減少	
金銭的な変化												
最寄り駅までの移動に必要な運賃の変化 ※おでかけシャトル導入前の主な移動手段がタクシーの人から推計	平均 円減少 最大 円減少	平均427円減少 最大600円減少	—	—	—	—	—	—	—	—	平均1,082円減少 最大1,600円減少	
運行本数	便/日	14	21	14	(デマンド)	9	11	(デマンド)	14	15	11	
利用状況												
利用者数	月平均○人	414	893	1,365	425	248	653	638	515	1,730	1,129	
	日平均○人	34	46	68	18	13	34	32	26	84	55	
利用傾向	各地区詳細参照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
頻度	各地区詳細参照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
運行収支												
収支率	月平均収支率 % 月当たり最大 % (目標 %)	評価対象期間の 収支率29% 月当たり最大 38% (目標25%)	評価対象期間の 収支率34% 月当たり最大 44% (目標25%)	評価対象期間の 収支率40% 月当たり最大 47% (目標25%)	評価対象期間の 収支率20% 月当たり最大 22% (目標25%)	評価対象期間の 収支率11% 月当たり最大 12% (目標25%)	評価対象期間の 収支率23% 月当たり最大 24% (目標25%)	評価対象期間の 収支率8% 月当たり最大9% (目標50%)	評価対象期間の 収支率17% 月当たり最大 18% (目標50%)	評価対象期間の 収支率96% 月当たり最大 107% (目標50%)	評価対象期間の 収支率68% 月当たり最大 73% (目標50%)	
外出頻度の変化												
外出頻度 ※おでかけシャトルの利用者のうち、増えた・やや増えたと回答した人の割合	%	38%	—	—	—	—	—	—	—	—	25%	
外出意欲 ※おでかけシャトルの利用者のうち、高まった・やや高まったと回答した人の割合	%	50%	—	—	—	—	—	—	—	—	32%	

各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・運行によるアクセス性の変化

●物理的な変化

公共交通圏域増加人口・面積
+5,500人 +0.52 km²



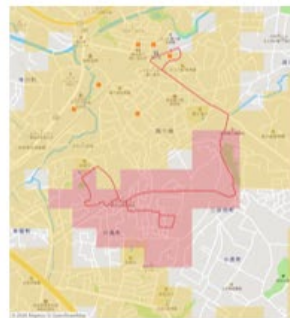
■ : 運行経路
■ : 計画策定時の公共交通圏域
■ : 当地区の運行による公共交通圏域

項目	概要
愛称	本宿東部・川島町西地区小型バス
乗車定員	6人
運行形態・距離	路線定期・6.0km
運行時間帯・便数	9時台~14時台・14便/日
運行日	月・水・金
運賃	大人: 300円 敬老バス・小児: 150円

●時間的な変化 (施設30分圏域)

【スーパー】

導入後の拡大人口・面積
+3,400人
+0.38 km²



■ : スーパーマーケット
■ : 導入前の圏域
■ : 導入後の拡大圏域

【総合病院】

導入後の拡大人口・面積
+4,800人
+0.38 km²



■ : 総合病院
■ : 導入前の圏域
■ : 導入後の拡大圏域

2 各地域単位での評価

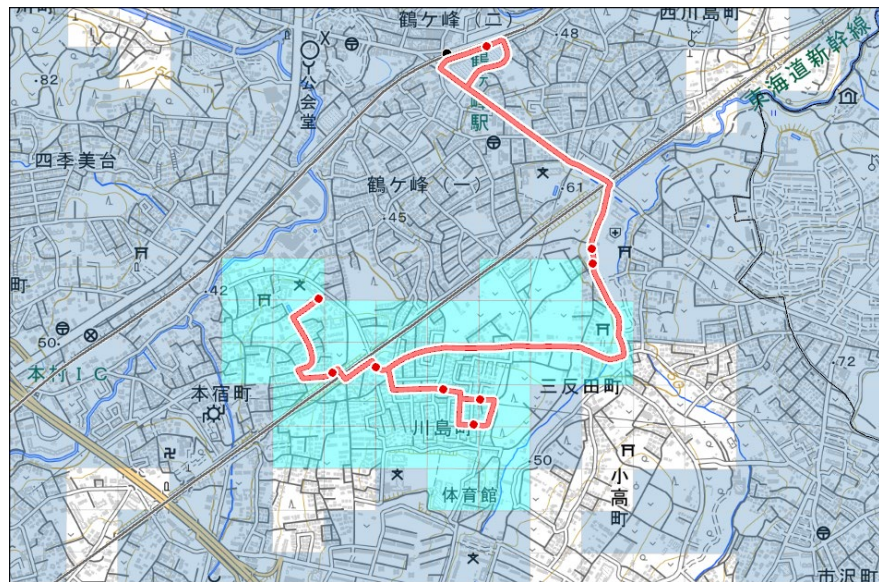
旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・運行によるアクセス性の変化 (物理的な変化)

公共交通圏域増加人口・面積
+5,500人
+0.52 km²

項目	概要
愛称	本宿東部・川島町西地区小型バス
乗車定員	6人
運行形態・距離	路線定期・6.0km
運行時間帯・便数	【~2025年12月】9時台~14時台・14便/日 【2026年1月~】8時台~14時台・14便/日
運行日	【~2025年12月】火・水・木 【2026年1月~】月・水・金
運賃	大人：300円 敬老パス・小児：150円 ※2025年10月以降

■ : 運行経路
■ : 計画策定時の公共交通圏域
■ : 当地区の運行による公共交通圏域

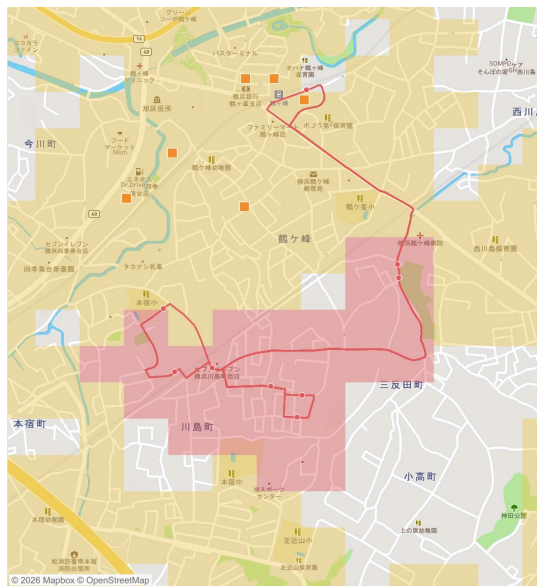


2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・運行によるアクセス性の変化 時間的な変化 (施設30分圏域)

スーパー



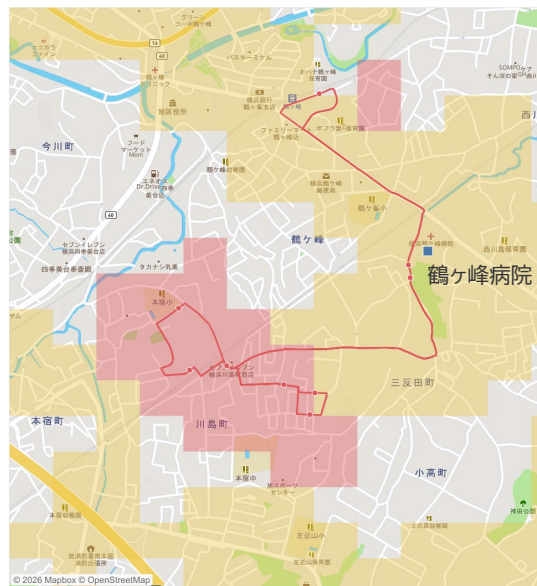
■ :スーパーマーケット

■ :導入前の圏域

■ :導入後の拡大圏域

導入後の拡大
人口・面積
+3,400人
+0.38 km²

総合病院



■ :総合病院

■ :導入前の圏域

■ :導入後の拡大圏域

導入後の拡大
人口・面積
+4,800人
+0.38 km²

2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目（2024.11.12～2025.11.11）

- ・運行によるアクセス性の変化 時間的な変化（最寄り駅までの所要時間（徒歩））

おでかけシャトルの導入によって、これまで駅まで徒歩で移動していた人の移動時間がどれだけ短縮されたかを推計

平均3.4分/回 最大7.4分/回

項目	算定方法
①利用者数	実績値（5,079人/年）
②徒歩転換割合	アンケート（57.4%）
③徒歩転換者数	①×②=2,913人/年
④総短縮時間	③×バス停別時間差
⑤平均短縮時間	④/③
⑥最大短縮時間	メッシュ別時間差最大値

バス停300m圏内メッシュの時間差（地理的期待値）



2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

- ・ 運行によるアクセス性の変化 金銭的な変化 (最寄り駅までのタクシーからの転換)

おでかけシャトルの導入によって、これまで駅までタクシーで移動していた人の運賃がどれだけ減少されたかを推計

年平均427円/回 最大600円/回

項目	算定方法
①利用者数	実績値 (5,079 人/年)
②タクシー転換割合	アンケート (21.3%)
③タクシー転換者数	①×②=1,083人/年
④各運賃利用割合	実績値 $\left[\begin{array}{l} \text{大人 } 12.7 \%、\text{高齢者 } 86.5 \% \\ \text{小児 } 0.2 \%、\text{無料 (未就学児) } 0.6 \% \end{array} \right]$
⑤総運賃減少額	③×④×バス停別運賃差 (大人運賃300円、高齢者運賃100円・小児運賃150円)
⑥平均運賃減少額	⑤/②
⑦最大運賃減少額	メッシュ別運賃減少額の最大値

バス停300m圏内メッシュの運賃差 (地理的期待値)
運賃減少額(円)



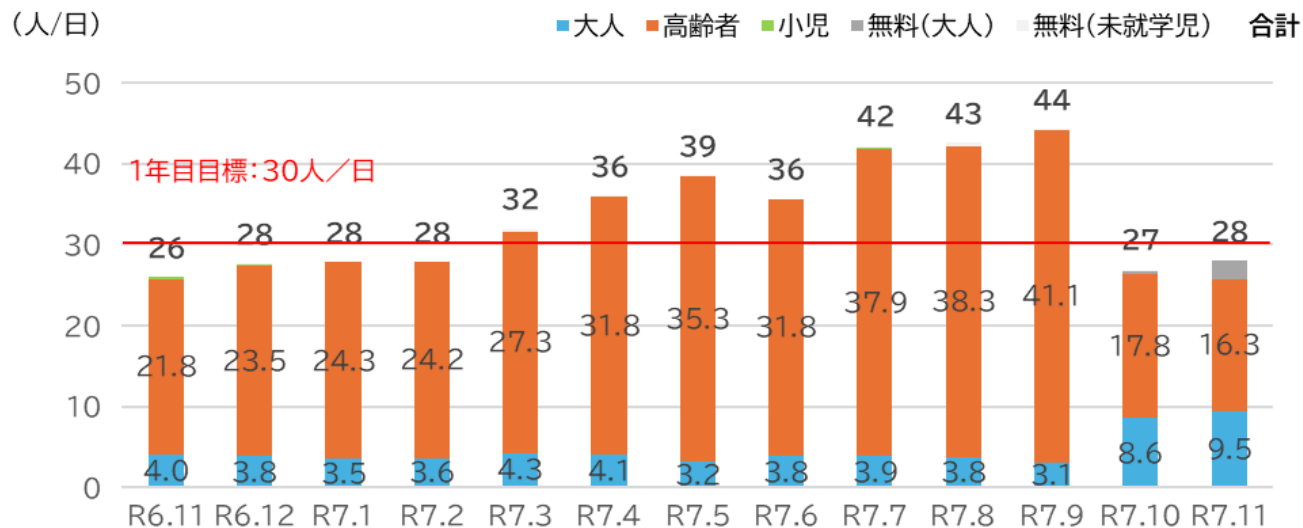
2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・利用状況 (利用者数)

月別 日利用者数

日平均・年間 34人



※高齢者とは70歳以上の割引適用者

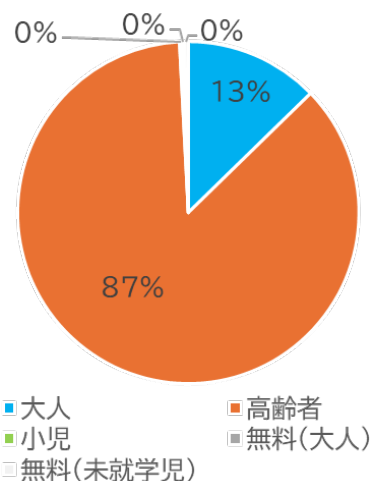
2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・利用状況 (利用傾向)

運賃区分内訳

8割以上が高齢者利用



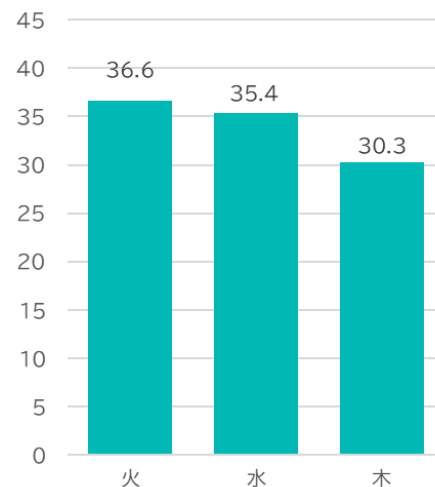
便別利用者数

(人/便・日) 1便(9時台)と11便(13時台)の利用が多い



曜日別利用者数

木曜がやや少ない



2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1～2年目の速報値 (2025.10.1～2026.1.31)

・利用状況 (頻度 ※I C利用者の動向)

利用概要 (総数・I C)

■総数

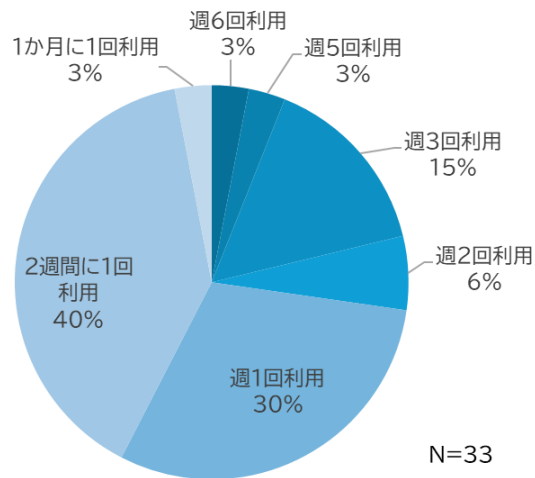
総利用者数	1,399人
日平均利用者数	28.6人/日

■I C利用者

総I C利用者数	415人
I C利用割合	29.7%
日平均I C利用者数	8.5人/日
ユニークID数	33人

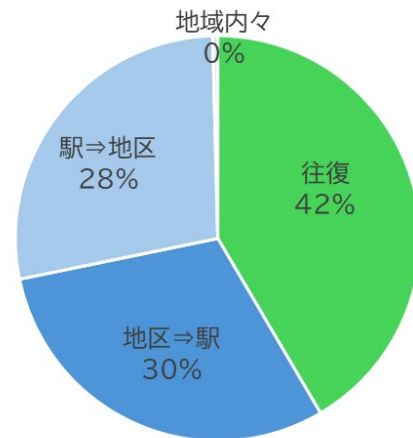
利用者別利用頻度 (I C)

週1回以上の利用者が約60%



往復片道利用者数 (I C)

片道利用が約60%



※駅発着:乗車または降車が駅
※上記以外でバス停不明が含まれるものは対象外

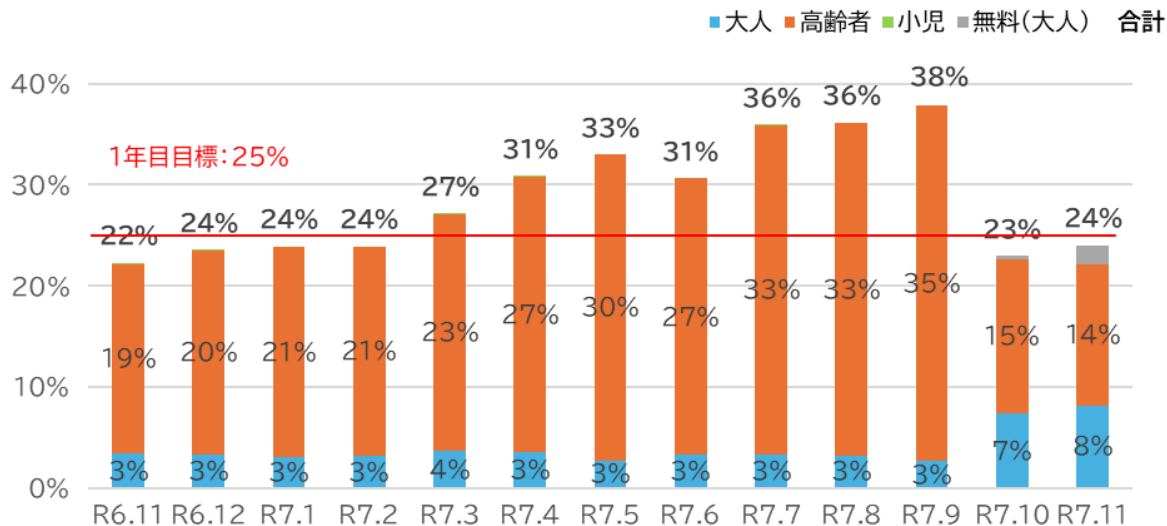
2 各地域単位での評価

旭区本宿東部・川島町西地区 実証運行1年目 (2024.11.12~2025.11.11)

・運行収支 (収支率)

収支率 29%

(月平均
: 期間R6.11.12~R7.11.11)



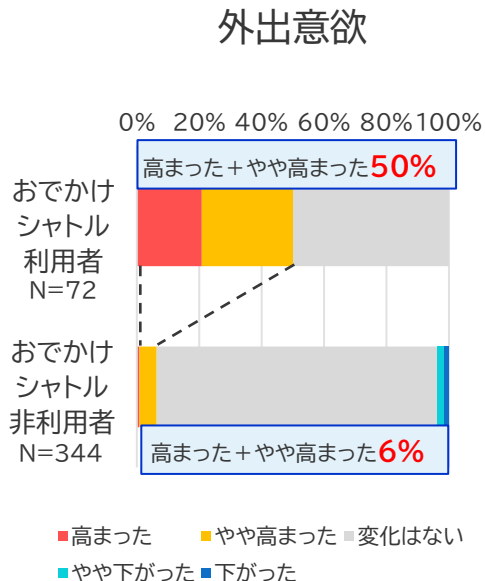
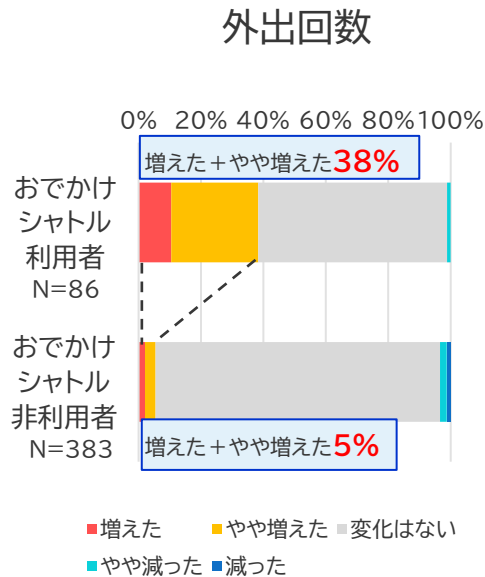
※高齢者とは70歳以上の割引適用者
※算定に用いている費用は利用人数・運行数に基づく計算値

2 各地域単位での評価

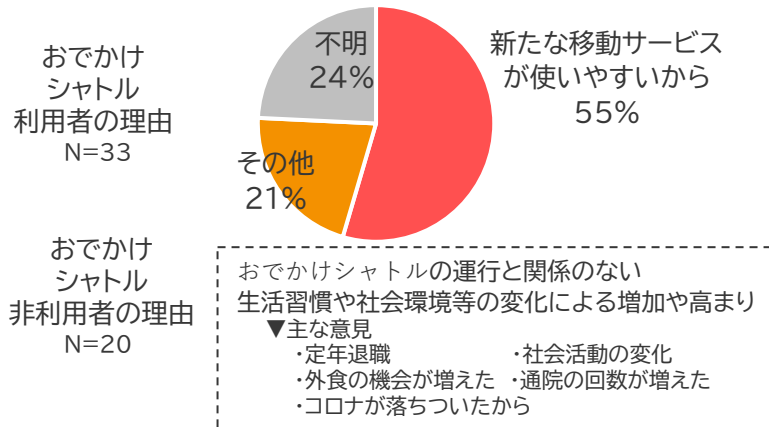
外出回数・意欲の変化（旭区本宿東部・川島町西地区）

・おでかけシャトルの利用者のうち利用前と比べて、増えた・やや増えたと回答した人の割合

アンケート調査結果（外出回数・外出意欲の変化） ※実施済みの2地区



外出回数が増えた(やや増えた)人の
変化の理由
(単一回答)



3 令和7年度の評価のまとめ

◆総括

- ・市全体で見ると、交通空白地のうち約5 km²で解消の取組が進んでおり、計画1年目としては概ね順調に推移している。
- ・各地域単位では、「みんなのおでかけ交通事業」による地域への支援を37地区で開始し、そのうち16地区で**おでかけシャトル**への運行補助を開始した。
- ・既に運行継続の収支率を達成している地区がある一方で、収支率の確保が厳しい地区もみられることから、地区ごとの状況に応じた対応が求められる。